

北海道大学大学祭への出展報告

北海道大学大学祭の企画として、親子で科学に親しんでもらうイベント「サイエンスラボ」に北海道支所から野生動物の話題で出展しました。当日は家族連れで来場された方が多く、北海道支所のブースには2日間で千人を超える来場者がありました。たくさんの方に楽しんでいただくとともに、森林総合研究所の業務について紹介しました。



○出展日時

令和元年6月8日（土）10:00～17:00、9日（日）10:00～15:00

○出展場所

北海道大学 第二体育館（札幌市北区北17条西7丁目）

（国研）北海道区水産研究所、パシフィック・セミナー（環境教育も行っている学習塾）も同時出展

○出展内容

1. 森の獣たち

参加者が被写体となって獣になったつもりで自動撮影カメラの前を歩き、撮影された写真のうちの1、2枚をプレゼントしました。参加された方は、各々が思い浮かべる獣の姿でポーズをとるなどして撮影会を楽しんでいました。2日間で、延べ128組（8日 70組、9日 58組）の方が参加しました。



また、自動撮影カメラで撮影した動物写真の展示や北海道支所構内で撮影した獣たちの動画の展示を行いました。野生に生きる動物のようすを見て、「シカだ、ネコ、リス、アライグマ？」などと話し合う親子もいて、生物の多様性への関心が高まったと思います。



2. シカの頭骨

歯の年輪を調べてわかるシカの年齢やそのデータの保護管理への応用の仕方についてパネルで解説し、頭骨（オスとメスを各1点）を展示しました。普段目にする事ができないシカの頭骨を、じっくりと観察する方が多かったのが印象的でした。



3. 北海道のスズメバチ

北海道の代表的な種をパネルで紹介し、そのうちの7種類の液浸標本を展示しました。怖がる子はあまりおらず、よく見かけるスズメバチなどを私たちに教えてくれました。スズメバチの種類や刺傷事故に関心を持つ大人は多く、スズメバチ刺傷事故を防ぐための冊子を持ち帰られました。



4. 動物クイズ

簡単なクイズに答えてもらいました。展示内容の中にヒントが隠されているため、問題を解くために展示パネルを見返す子供たちもいました。参加賞としてプレゼントした手作りのキーホルダーや木製のしおりも好評でした。

